

第10回仙北市政策検証市民委員会 会議録

- 日 時 平成24年10月22日(月) 13時30分～16時00分
■会 場 仙北市田沢湖総合開発センター 談話室
■出席者 委員 牧田委員長 大和田副委員長 佐々木委員 堺委員 田口委員 佐藤委員
草薨委員 橋本委員 西村委員 9名
市 倉橋総務部長・佐藤総務部次長兼企画政策課長・田中総務部次長兼財政課長
事務局 企画政策課 戸澤参事・大澤政策推進係長 5名
■欠席委員 藤村委員

1. 開会

事務局 お疲れ様です。ただ今から第10回仙北市政策検証市民委員会を開会します。それでは、最初に委員長から挨拶をお願いします。

2. 委員長挨拶

牧田委員長 本日はお忙しのところお集まりいただきましてありがとうございます。皆さんに文章を書いていただき総括文も全部出て、これに基づいて最後の報告書案を作り上げていきたいと思えます。ご協力をどうかよろしくをお願いします。

事務局 案件に入る前に本日の資料の確認をお願いします。
(資料確認)

3. 案件

牧田委員長 今日の案件について事務局から説明をお願いします。

事務局 案件1は前回の決定事項の確認をします。(別添資料説明)
案件2は検証結果報告書の確認になります。新たに目次を追加しました。
(以降、仙北市政策検証結果報告書(案)の説明)
全体総括と政策別の総括は堺委員から作成していただいていますので、補足等あればお願いします。

堺委員 句読点の修正等をよろしくをお願いします。全体総括に関しては1項目だけ追加しただけで残りは前回と一緒にです。政策別の総括に関しては、いかに6行以内に収めるかということだけを考えたので項目の中で減っているものが相当あると思えます。ただ、報告書の中に順番に各項目に関しての各自の評価があるので、そちらを読んでもらえばいいと思うので、あくまでも標題のかたちで書きましたので小さくを前提にして考えて書きました。これは満足いきませんということであれば承ります。

事務局 報告書案を後方のスクリーンに映していますので、この場でどんどん修正をかけていきたいと思えます。

牧田委員長 ありがとうございます。それでは全体の総括と政策別の総括を中心として最後の検証と
いうか文案を仕上げていきたいと思いますが、それについての意見とこれをどうしたらいい
かということでの意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

倉橋総務部長 総括の部分で、皆さんからのご意見・ご指摘は謙虚に受け止めて尊重したいと思
います。ただ一つだけ、角館庁舎の改築という言葉がありますが、角館庁舎については現在移
転の検討はしています。改築とか建築という話しではないです。検討している一番の要因は、
角館庁舎が今非常に危険な状態で、この秋にも南側の一部が剥離して駐車場が使えない状
態で応急措置を講じていますが、早急に、一体型庁舎とはまた別の議論の中で安全第一と
いうことで、これ以上あの建物で事務を執って皆さんをお迎えすることは危険な状況であ
るとの判断から移転を検討しているということです。移転にあたっては既存の公共施設を
まずは優先的に考えています。それによって入るところの整備は当然必要になる訳です
が、意見としては暫時プレハブも一部という話しも出ていますがまだ結論は出ていま
せん。このままの文面ですと角館庁舎が新しく建て替えるような感じになってしまいま
すので、どうかご検討いただければと思います。

牧田委員長 そのことについてはよろしいですか。改築については別で、今言われたことはこれとは
質が違う中身なので、この文言についてどうこうなることではないですね。

倉橋総務部長 改築の検討はしていません。7ページの政策5でも「角館庁舎の建設が先行される」
とのことですが、そのようには私ども考えていません。

堺委員 そうだとすれば、そこまで情報がそちらにあるのだからなぜこの委員会でこの項目が入
った時に説明をしなかったのか。

倉橋総務部長 もし私が話したことについて皆さんに情報提供がなかったとすれば大変申し訳なかつ
たと思います。

戸澤企画政策
課参事 具体的な話しはしましたが、ただ移転と改築の話しの方がまずかったかと思
います。いずれ、今は古いし危険だということと、火除けの復元もありそのような理由で移
転しなければいけないという話しでした。

堺委員 移転しなければいけないという話しだったので、これは改築と書いてしまったが、移
転改築というかそのような判断で文章を書く格好になってしまった。

倉橋総務部長 少し説明不足でした。

牧田委員長 それではこの文言をどうしましょうか。

西村委員 耐震や色々なことで危険だとの話しなので耐震補強工事をそのままの建物でやるのか
などの認識でいたが。

倉橋総務部長 耐震補強では間に合いません。

西村委員 例えば、プレハブや既存の施設を使ってどこかにそっくり引っ越すという話しですか。

倉橋総務部長 そのとおりです。

西村委員 耐震構造で補強とかどうこうするのは無駄なことだということ、更地にするということ

ですか。

倉橋総務部長 いずれ一体型庁舎は計画として出していますので、それまでに現在の角館庁舎にいて事務を執るのは無理だという話です。

草薨委員 とりあえず今現在ある公共施設を移転場所にして早く移転しなければあのままでは出来ないということは、現場を見るとかなりひどいので私もそう思います。

堺委員 庁舎建設を凍結して、もう1回委員会を作ってやるということに対して2年間かかってもう発表しなければいけない。それが出来ないで、キッチリとした話しが出来ないうちにどういう市役所方式にするかがちゃんと出来ていない、それに対して危険庁舎だから対処していくためにお金を使っていくことについてなぜ急がなかったのかということです。

西村委員 角館庁舎がおかしくなったのはいつ頃か、この前の震災の影響もあるのか。

倉橋総務部長 南側の一部が実際に剥離したのは先日のことです。

堺委員 それでは文章を直します。少し考えてみます。

牧田委員長 他に何かありますか。

－ 協議のうえ細かな修正等についてその場で修正作業 －

田口委員 基本的なところで、あくまでも政策検証なのでマニフェスト検証とは違うということで今まで進めてきた認識だったと思います。総括文の「当初の委員会では、市長の公約を検証するのか、市の政策を検証するのかの議論が行われ市当局の見解を求めました。その結果、門脇市長のマニフェストは、市が政策として実施することに決定しているので、仙北市アクションプランの平成22・23年度分の事業実績の検証を行うこととなりました。」とありますが、堺委員がそのつもりで書いたかどうかはわかりませんが、ここだけ読むとマニフェストの検証を政策検証としてこの委員会で行ったとも読めます。政策検証委員会とマニフェスト検証委員会はあくまでも別だというようには読めない可能性があるので、ここに一言、政策検証委員会とマニフェスト検証委員会は別であって、この政策検証委員会の報告がマニフェスト検証の報告に代わるものではないことがわかるような一文を添えておくべきだと思います。

堺委員 それは拒否します。それだったら別の人に書いてもらいます。私はあなたに配慮してこの文章を入れただけなので、本来であればこの文章はいらないと思います。あなたの最初の論争で何時間をムダにしたかを考えて、せっかく色々なことを言ってくれたから配慮して文章の中に入れてだけの話しなので、私は皆さんが合意したとっていてあなただけが合意していなかっただけで、委員長辞任の話しまで全部書けばいいですかという話です。前回に言ったらよかったのではないですか。

田口委員 前回初めてその場でこの文章を見せられて頭に入らなかった。

牧田委員長 皆さん今の提起に対してどう思いますか。

堺委員 また最初の話しに戻るのはいやです。

田口委員 逆にこれだと前の話しに戻ってしまいます。政策検証委員会とマニフェスト検証委員会

は別だということで議事録に残っています。「本委員会の目的がマニフェスト検証なのか政策検証なのかという議論の結果、あくまで政策検証委員会設置要綱に基づく政策検証委員会であって、マニフェスト検証委員会ではないとの結論を得た。また、本委員会の報告書がマニフェストの検証に代わるものではないことを確認した。」とあります。だから、否定している訳ではなくて、政策検証委員会とマニフェスト検証委員会が別だとわかるように追加したらどうかということです。

牧田委員長　　これがあるからそのような誤解を与えるのであればカットしましょう。それで問題ないのではないのでしょうか。他の委員の皆さんはどうですか。

佐々木委員　　私は違います。大々的に何時間もかけてやったんです。堺委員が書いたとおりで納得して決着しているんです。これ以上また盛り返して時間をかけてもおかしいと思います。

堺委員　　それがあなたが委員長を辞任する理由の中に入っている。

田口委員　　政策検証委員会とマニフェスト検証委員会が別だということを確認したのだから、それがわかるように一文を追加してくれと言っているんです。

佐々木委員　　あの時に我々が確認したのは、マニフェストではなくて政策検証委員会で踏襲されているということです。だからここに書いているとおりで間違いはない。マニフェストで呼ばれているのではない訳です。

田口委員　　政策検証を行ったということですよ。

佐々木委員　　市からは政策検証委員会として依頼を受けたのです。市長のマニフェストは市のアクションプランに反映されているので、このアクションプランで検証してくださいということになっている。

堺委員　　あなたがこれに反対して委員長を辞めただけです。

田口委員　　反対ではなくて、私はこの委員会はマニフェスト検証委員会でないとおかしいのではないかと言ったのです。そうしたらそうではなくて政策検証委員会だということで、私が委員長の時に皆さんにそれでいいですかということで、設置要綱に基づく政策検証委員会だということで合意したのです。私も含まれています。

堺委員　　あくまでもこれ以外のことは何もやっていない、アクションプランの22年度と23年度分の検証以外のことは何もやっていない。

田口委員　　私はこのことを否定しているのではないです。政策検証委員会とマニフェスト検証委員会が別だということを誤解がないように書いてくれと言っているのです。

堺委員　　それが何の誤解なのかわからない。

牧田委員長　　この文章でこの委員会の性格については触れられているのではないですか。

佐々木委員　　そのような議論があったうえでこうやりましたと書いているので問題ない。

田口委員　　アクションプランの39と40はマニフェスト検証委員会がやるということになっていたのが検証の対象外にした訳です。政策検証委員会とマニフェスト検証委員会が別物で

あって、我々は政策検証委員会でマニフェスト検証委員会ではないからということで検証の対象外にしている。元々別だということで来ているはずですから、そのことがしっかりわかるように書いてくれと言っているだけです。

佐藤委員 どちらのおっしゃることもそのとおりだと思うので、要はこの文章の内容自体は間違っていないので、表現として、マニフェスト検証ではなくあくまでも市の政策検証をしたということを書いてもらえればいいのではないですか。

堺委員 田口委員が言ったのは、政策検証委員会が何故マニフェストについてやるのですかという話しから入ったものなので、マニフェストは政策の中の一環だからという返答を市からもらってそれでやった訳です。結果的に私達がやるのは、市長のマニフェストが政策に反映されるということと言われたので、その分に関してだけの検証をやったので、仙北市の全ての政策に対しての検証はやっていない。市の中に今回以外にいっぱい政策はある。その中で40項目に絞ってやりますということで話しをして、この委員会が出来上がって来た訳なので、その過程でこの議論を何時間やったのか、それをわざわざ整理するために私は仙北市アクションプランの平成22年度・23年度分の事業実績の評価を実施しましたと書いたものです。

佐藤委員 そのとおりだと思います。より誤解のない表現に少し変えればいいということだと思います。

大和田副委員長 気持としては誤解というよりも、この討議の時は、市長のマニフェストに基づいて行政として一生懸命推進しようとしていることが一体どうなんだということを論議してきたように思います。そのことに最初に遡って違うんだということをあえて表記する必要はない、この論議の時間の40時間はまさに市長のやろうよといっていることを行政サイドでどう実践したかということ、盛んに私達はそれを問いかけ自らにも投げかけながらこの時間を作ってきたのではないかと思いますので、このとおりでいいのではないですか。私はそう思います。これからの2年間で本当に目指すものにもっていかうと、それは市長も行政サイドも私達市民も一緒になってこの後の2年間は頑張ろうというその検証だったような気がするので、この表現で私は十分だと思います。

田口委員 この委員会のあり様というのは立派なものだと思うし、大和田委員が言われたこともわかります。ただ、マニフェスト検証委員会ということが流れの中で言われていて、そして今回この政策検証委員会ということで皆さんに案内がされて集まってこられている訳ですよね。それでマニフェスト検証委員会と政策検証委員会でやる内容が同じなのかというところと少し違うんです。堺委員が言われたように政策検証委員会はアクションプランの40項目について検証してきた訳なのですが、マニフェストの検証というのは、選挙の時に市長が約束したことがどの程度達成されているかどうかを検証するのが仕事な訳です。アクションプランの中身について検証するというのではなくて。

牧田委員長 それはわかるのだが、結局何を言いたいのですか。

田口委員 だから2つの委員会はやるのが違うということです。

牧田委員長 それは皆さんわかっているのではないですか。

田口委員 だから、マニフェスト検証委員会が変質して政策検証委員会になったのではなくて、マニフェスト検証委員会と政策検証委員会が別にあるんだと、ここはあくまでも政策検証委員会だということがわかるようなかたちで書いて欲しいということです。

- 西村委員 マニフェスト検証委員会というのはあるのですか。
- 田口委員 あります。
- 倉橋総務部長 市では政策検証委員会だけです。
- 田口委員 今現在存在しているという意味ではなくて、今まで計画されていましたよね。
- 牧田委員長 そこに論議を持っていくのは止めましょう。そこはこの検証委員会でタッチするようなことではないのではないですか。それがあつてゴチャゴチャになることではないのではないですか。
- 田口委員 だからこそ誤解がないように、一回整理した訳ですからね、マニフェスト検証委員会とは別だということ。
- 牧田委員長 このままの表現で混乱しますか。あなただけではないですか。
- 田口委員 誤解がないように一文を追加するのが逆にまずいのでしょうか。
- 堺委員 何がおかしいかわからない。また最初の論議に戻ってしまう。
- 牧田委員長 そのため何か案として考えられますか。どんな文章になったらいいか、考えておいてください。
- 西村委員 この表現で誤解を招いて、他にマニフェスト検証委員会が別に出てくるとか二重構造でどうだとかいうようなことを、説明不足とか誤解する人がいるだろうか。
- 佐々木委員 田口委員以外は誤解している訳ではないのでこのままでいいのではないですか。田口委員が考えた案がよければよしダメであればダメでいいのではないですか。
- 牧田委員長 佐々木委員の意見でやりたいと思います。全体としての基本的な話しは問題ないが文章の問題で今言っています。
- 西村委員 堺委員が言われたように、委員会当初に揉めた何時間のことも考慮しないでおかれないので、このような経緯があつてアクションプランを検証することになりましたという随分優しく書いてある気がします。
- 田口委員 更にもう一段配慮していただければと思います。また、アクションプランの39と40は対象外にしているはず。その時の話しは、マニフェスト検証委員会ではないからということで皆さん了解したはず。アクションプランの39と40は報告書のページ自体が抜けています。本来入れるべきで、そうでないと38までしかないのか、40まであつて39と40はどうしたのかの区別がつかないので、その部分についてはマニフェスト検証委員会ではないので当委員会では検証しなかつたというかたちにしておくべきだと思います。
- 堺委員 それはあなたの思いだけだと思う。今言われた政策8については論争していないので、その分に関してカットすることはやぶさかではないが、中身のことは何も書いていなくて、次のもう2年間続くからそのことについて一生懸命やりますということを書いただけで中身については一切書いていない。それは政策の最初のところに書かれてある文面から

推測してもう2年間やらなければいけないので、4年分だから頑張りますと書いただけの文章なので、その分に関していらなくなればカットしても構わない。ただ、私はこの論争に話しを持っていきたくなかったからわざわざ丁寧な説明書きを入れたものなので、これについては一切譲る気はありません。また最初の話しに戻るようなことを言うのであれば、なぜあの時にあれだけ揉めて委員長を辞任する話しで何日間ムダにしたのですかということ、これについては非常に憤りを感じていますので。

佐々木委員 提案です。総括文はそのままにします。そしてアクションプラン一覧表から政策8をカットして39と40をカットします。政策別の総括の政策8もカットします。これで何も問題ないのではないですか。

牧田委員長 今回の佐々木委員の提案については皆さんいかがですか。

西村委員 確かに評価していないからアクションプラン一覧表では一(横棒)になっています。だが、公約検証委員会が策定することはどうなっているのか、その後出来ているのか、自己評価と外部評価では3とかBとかと評価している。我々は政策のあり方から公約実現のための行程表を作ったとか公約検証委員会の設置、進捗状況をコメントすることは何も出来ていないし、公約というものがマニフェストとイコールだとすれば、我々は評価しなかったでしょう。削らなくてもこのままでいいのではないですか。公約でなく政策だから。

佐々木委員 田口委員が言うのはこれがあるから本文を直せということ。私は本文を直さないで39と40を削るということで、どちらかということです。

田口委員 なかったことにしましょうという話しでしょう。

西村委員 このままでいいしわざわざ消す必要はない。本文もこのままでいい。これだけの頭数が揃ってそれぞれ自分の考え方を持った一流の人達が集まっているから異論はある。全員一致でシャンシャンと叫ぶこともないこともある。だが、私はこの本文でいいと思います。田口委員はおもしろくないかもしれないが、実際にさんざん揉めてマニフェストだ政策だと言いつつながらも当局の説明をのんで我々政策検証委員会はやった訳だから。その説明の部分が全くないとまた最初からあの時間は何だったのかということになる。

田口委員 皆さんがそれでいいという意見が多いようなので本文はこのままにして、ただ、マニフェスト検証委員会の議論はした訳だから、39と40はページを残しておいて、これはマニフェスト検証委員会がやるということで整理した話しなので、当委員会では検証の対象外としたと書いておいたほうがいいと思います。

事務局 アクションプラン39と40の評点とコメントがなしということで、39と40を追加すべきだとの話しですが、そこに当委員会で整理した事項を転記するかたちではどうでしょうか。40項目といつつ実際は38項目しかない検証ですので、ページ数を追加してそこにアクションプラン39と40について、委員会で決定したマニフェスト検証ではなく政策検証になったため評価しなかった旨を記載することでいかがでしょうか。

牧田委員長 それで整うと思います。皆さんそれでよろしいですね。

～ 一同了解 ～

牧田委員長 総括文については他にいかがですか。

西村委員 先程総務部長が言った角館庁舎の改築については、改築ではなく、老朽化の状態で急遽のトラブルもあるので移転を含めて考えているとのことなので、これだと今の庁舎を取っ払って新しく改築するみたいに誤解を招くので何とかしてくださいという話しはどうしますか。

～ 休憩 ～

牧田委員長 再開します。休憩中に色々話しがありましたが、角館庁舎の改築や移転の文言は全てカットすることにします。総括文はそのまま、政策別の総括では「市役所の建設については、分庁舎方式か本庁舎方式を採るかは2年間もの議論の機会があったのに凍結のままでは職務怠慢と言われてしまいます。さらに頭でっかちの行政（肩書きの乱発）による行政コストの増加が懸念されました。」の表現にとどめておくことにします。

大和田副委員長 肩書きの連発とはどういう意味ですか。

堺委員 役付きの職員が多くなったということです。肩書きを連発してしまっているということだから、ここにいる職員の役職を聞けばよくわかる。部長・次長の連発。

～ 乱発にしましょうとの声あり、一同了解 ～

大和田副委員長 頭でっかちということだけで行動が伴わないみたいな表現になってしまうので、それは職員配置が均等でなくて役職ばかり揃っているという意味の頭でっかちですね。

堺委員 そのとおりです。

西村委員 項目が行財政改革のところだからそう言えばわかると思います。

～ その他、細かな修正等についてその場で修正作業 ～

西村委員 役所の手法としては何何委員会に諮問して、諮問される委員の方々も賛成しそうな人を選ぶ、自分達がせっかく策定したものを諮問して出来ればシャンシャンと終わらせたいようなメンバーばかりを選んでいるような気がする委員会もあるんです。例えば角館総合病院もそうです。何回も委員会をやった、議会の是員協議会もやって議会の理解も得られた、だからあの場所なんだという、よく常とう手段としてそれを使うのだが、本当にそれで一般の市民が納得するか、情報公開は広報を見ない市民が悪いと言われればそれで終わりだし、ホームページにも記載しているとか議会ですっかりやっているとか言うのだが、それが本当に末端の人まで市民みんなが、よしそれでは今の病院ではダメだからみんなで頑張っって借金してもやろうというような、そこまで盛り上げるような、行政はそんなサービスが説明が求められますよ。庁舎に全くそうであって、借金してでも頑張ろうという住民の賛同をさせること、選挙の時だけ調子のいいことを言って納得させて勝ってもダメなんです。このような大きなプロジェクトは特に、市長の報酬を3万円や5万円下げただけで出来ない。だからやはり市民が借金してでも庁舎や病院を建てるということを盛り上げるための委員会だったり情報開示をしないとこれからの行政はダメだと思います。あたりのいいマニフェストではダメなんです。だからそのための情報開示、そのための委員会、その委員会がやったことは委員も責任がある訳だから、執行部が出した提案に賛成ばかりの委員会ばかりではなく、そのような機運を盛り上げて大きなプロジェクトに取り組まないと絶対ダメだと思います。丁寧な説明で住民の賛同を得てよし頑張るんだという機運を盛り上げたプロジェクトを是非進めてください。市長は落選してしまえばただの人だし、実際は市の幹部職員の質が市の政策や色々なことに関連して肩にかかっている。

牧田委員長 今大事な意見が出されたと思います。情報開示として市庁舎建設の項目に関して出たが、実際は色々な物を市民に徹底させていって市民の論議をあおぐこともこれから意識して取り組んでいかないとダメかなと思います。

堺委員 庁舎に関しては、22年度・23年度中にやらなければいけなかったことをやっていないということだから、議論を尽くすべきと表現したものです。

倉橋総務部長 みんなの庁舎検討委員会を以前にやったのではなかったか。

事務局 平成22年度で3月に答申を受けまして、それを基にして庁内の部長会議で一体型庁舎の方針ということで基本的な方針を示したのは23年度の11月です。

西村委員 意見を十分に聞いて答申を得て、その後部長達の幹部会議をやってきたということで段取りは踏んでいるという話しです。

倉橋総務部長 ただ、市民を巻き込んだ議論までには至っていないということはそのとおりです。

堺委員 市民全員に公表したのか。

事務局 みんなの庁舎検討委員会（市民委員会）の結果については公表していますが、部長会議については公表していません。

堺委員 どこに出来るかは大論争になるはずである。

倉橋総務部長 まだそこまでは至っていない。どこに出来るかまでは至っていない。

佐々木委員 一体型庁舎の建設という方向付けは出来ているのか。

事務局 主なものはスケジュールで、31年度まで整備したいというものです。

西村委員 それは合併特例債の関係か。

倉橋総務部長 仮に建てるとすればです。

西村委員 合併特例債が使える間でなければ益々建てられないよと、ゴールが31年度だとすればそれまでの間に良いか悪いかはもっとやりましょうという話しですね。

倉橋総務部長 そのとおりです。

西村委員 市民の声を入れながら十分に検討したという話しが、それが本当に市民みんなの論争というか話題になって、良いか悪いかも含めてもっと大きくしていくべきである。諮問委員会を経て答申を受けているからという話しだけでなく、もっと丁寧な情報開示と市民の声を求めること、それが末端まで丁寧にやったようには見えない。本当にいいことであればさっさとやるべきである。

牧田委員長 庁舎関係についてはこのぐらいにしたいと思います。総括文の中でバイオマス関係が新たに追加されているが、以前の資料に24年度から目標に向かって電力を起す努力するとあるが、今の現状を教えてください。

倉橋総務部長 昨年度、大規模な全面的な改修工事を行いまして、24年度になってからは計画に近い電力供給はしていますが、冬場も含めた1年間の結果を見ないと最終的な状況は判断出来ないということです。今のところは目標どおりとの報告を受けています。ただし、暑い寒いエアコンを使う使わないなどにすごく左右されますので、年間を通した結果を待ちたいと思っています。

牧田委員長 総括文では欠陥事業云々で早期廃止も含めた判断が必要とありますが。

倉橋総務部長 これは委員の皆さんの意見です。

堺委員 改修費についてはどうなっていますか。

倉橋総務部長 施工した月島機械の全額負担です。改修工事に市では一切費用負担していません。

牧田委員長 この文章はこのままでよろしいですか。

堺委員 その後聞いたところでは色々問題点はあると思います。委員会の結論だからこのままでいいと思います。今、また状況を聞いて委員会の結論を別にしていくのはおかしいことなので。私が聞いているのは部長の話とは少し違います。

牧田委員長 それでは総括文についてはこれでいいですか。全体の大きな総括文と個別の政策別の総括についての確認で意見ををお願いします。

～ 文言の訂正等についてその場で修正作業 ～

堺委員 全体と政策別の総括文は、報告書の後半に各自の意見が付いているのであまり細かく表現する必要はないと思う。この段階で細かく書いてしまうと各自の評価や意見を見ないことになるので。

西村委員 ホームページは別として、例えば市民に我々が検証したことを公開するとか広報に順次掲載していくといってもこのとおりの文章量にはならない。そうすると結局政策別の総括はこのような報告をいただきましたというかたちになる。それしかたぶん市民に伝わらないような気がします。

事務局 この報告書は最終的にはホームページにはこのままの状態に掲載したいと思っていました。

西村委員 ホームページを見る人はそう何人もいない訳で、実際に一般の方々は市の広報の中で見るだけで、総括文が載る程度でしょう。大枠でしか載せられる訳がない。これを全部載せるとすれば広報を毎日出していかなければならない。政策別総括でも委員会の意志が出て来ないといけないと思う。

牧田委員長 それでは政策別の総括について一つずつ確認しましょう。

～順次、文言の訂正等についてその場で修正作業～

事務局 それでは案件3の検証結果報告の議会への報告方法について、総務部長からこれまでの経緯を報告します。

倉橋総務部長 委員の皆様から、この報告書については議会へ直接報告したいとのご意見が出されたと同っています。議会では正式な会議になりますと手続きがありますので、あらかじめ議会議務局に、政策検証市民委員会で報告書が出来た後に議会の方々と何らかの意見交換の場を持ちたいとの意向があることを伝えました。今のところ、議会の全員協議会がありますが、これは特別な場合において議長の許可を得て開くことにはなりますが、今の市議会では相当な案件が何かないとあまり開いてもらえないし、仮に開いても質疑応答も議長の判断で、報告を受けるだけで終わることも多々ありますので、所管の常任委員会の皆さんと検証委員会の皆さんの懇談の場を設けたらどうかというような話しになっています。皆様のご意見を伺ってからですが、所管の総務文教常任委員会の協議会が度々開かれていますので、その委員会に皆様のご意向をお伝えしてそういう機会を設けるのはどうかというご提案です。政策検証市民委員会は市がお願いした委員会ですので、あがってきた報告書については議会の皆さんにも当然配付して報告する訳ですが、別途、直接議員の皆さんと話し合いの場を持ちたいとすれば総務文教常任委員会のほうが良いと思います。

西村委員 総務文教常任委員会の中でやったほうがより意見の交換が出来るということですね。

牧田委員長 皆さんから意見ををお願いします。

西村委員 総務部長からの提案がなされて今の流れからすればその方法がいいような気がします。でも議員全員に報告がいくのだから市長に報告するだけで終わりにするか。

橋本委員 出来れば全員協議会の場で委員長から10分なり15分なり報告するほうが皆に通じると思うが。

堺委員 いいのではないですか。議会との何らかの機会が持てたというだけで、他の委員会はない訳だから。今までになかったということだから。

牧田委員長 何をどういうふうに議員さんと意見交換するのか、やるとすれば、皆さんが出ても代表が出てもその意思を伝えなければならない、そのへんも含めて。

田口委員 おそらくこちら側から委員長なりが説明をして、それに対する質問があれば個々の委員から意見を述べる、応えていく、そこで次にどうするかたちになるのではないのでしょうか。出れる人はみんな出るかたちのほうが良いと思います。

草彅委員 今までに例のないことをやっていかないと、今までの惰性で物事をやるということは私は嫌いです。ここで初めての検証委員会が発足して、これだけみんなが40項目について10回の会議を開いて、ただ私達が知っているだけでなく、やはり議員さんに、本来は議員さん方が我々に説明するべきだが逆になっている。これだけの資料を持っているのだから出られる委員は出るべきで、お互いにそこで話し合っ、皆さん方ももう少し真剣になって我々市民のことを考えてくださいというくらいのことが出てこないといけないと思います。

堺委員 全員が出る場合は自分が報告書に書いたところから逸脱しないことが最低限の条件です。その時に何でも好きなことを言うてしまう会ではないので、あくまでも自分がこの委員会で話したことを言わないと話し合いにも何もならないと思う。それだけのご理解いただきたい。

西村委員 その方向でやってもらいましょうか。報告書は最初に市長に渡し、全議員にも渡るだろうから、どのようなかたちの委員会になるかはわからないがその委員会はセッティングし

てもらいましょう。我々は悪口をたたきに行く訳ではないのだから。行政の最大のチェック機関である議員の方々の認識も、ただこの報告書を読むだけでなく我々の生の声を聞いてもらいたい、そういう協議会を持ちたいので是非お願いします、時間を割いてくださいということです。

～ 一同賛成 ～

- 堺委員 総務文教委員会の場合だとすればこの委員会は行政から誰が出て来るのですか。
- 倉橋総務部長 検証委員会の皆さんとの懇談となれば今ここにいるメンバーと事務局になります。
- 堺委員 もっと上の人は来るか、市長、副市長。
- 倉橋総務部長 日程が空いていれば入ります。
- 西村委員 各部の部長は出るのか。総務文教だとすれば全部長が出るという話しにはならないか。
- 倉橋総務部長 そうだとすれば部長達との意見交換の場を別に設けていいですが。
- 西村委員 むしろそっちのほうが効くかもしれない。そっちのほうがいいかもしれない。
- 堺委員 それは普段から色々やっていることだから、やはり議員さんとやったほうがいい。
- 牧田委員長 そうすれば議員の方々との懇談で進めることにします。
- 倉橋総務部長 今月の31日に総務文教常任委員会協議会がありますので、その席で今の話しをして了解をもらえれば11月中に開催出来るようにします。その場で了解を得たいと思います。
- 牧田委員長 それではそれを確認してこの件は終わりたいと思います。
その他に何かありますか。
- 事務局 確認ですが、今直していただきました最終の報告書を完成させて、まずは委員長に確認していただいてOKが出れば皆さんにお配りするかたちにしたいと思いますがよろしいでしょうか。

～ 一同了解 ～

- 倉橋総務部長 田口委員の見解はこのまま掲載することになるのか。人事のことで市役所の中だけで行われているということになっていますが、人事について市役所の中だけで行う以外に何かあるか、そういう方策はあり得ないと思うのですが。昇格の基準が不明朗とかということであればわかりますが、人事の件は市長の職権ですので、これは少し違うのではないかなと思います。議会とも関係ありません。
- 田口委員 市役所というのは市長も含めて市役所という認識で書きました。
- 倉橋総務部長 いいのですが、市役所の中だけで行われているのが問題と言われると、制度上のことで、誰かの意見を聞く話しではない訳です。
- 田口委員 そうということですね。市役所の中で決めていいものなんですね。

倉橋総務部長 決めなければならないものです。

西村委員 外に出すべき問題ではない。

田口委員 これだけ昇格がたくさん増えているということについて言っているの、人事のことについて言っているのではないです。

倉橋総務部長 それはわかるのですが、市役所の中だけで行われているというのはおかしいです。それを問題視するのはおかしいという意味です。

田口委員 皆さん、これだけ昇格が最近これだけ増えているということは特に問題ないという意識ですか。

佐々木委員 それは市長の判断です。市民から負託された市長がやることだから、それはやった時に議員が話すことです。

倉橋総務部長 議員も知らないとかということは別にそういうことではない話しです。

田口委員 個別の人事ではなくて、これだけ最近増えていてもこのことは特に問題ではないということですか。

佐々木委員 機構改革で部を多くしていることだから部長も次長も増えることで、別におかしいことではないです。

田口委員 それはそうですが、増えすぎでしょうということを話している訳で、私は問題だと思っています。

佐藤企画政策課長 唯一人事権というのは市長の権限です。だったら市長になってくださいという感じですが、我々も何も文句は言えないということです。

牧田委員長 昇格が増えた原因というのは、以前の検証の中にもあったが様々な仕事が増えていて、そういうことを含めての部署が増えていわゆる幹部が増えていくというのが納得出来ないということですか。

田口委員 そうです。これだと多すぎます。これだけ増えているんですよ。まあそれはでも個人個人の考え方だからそこはいいです。

倉橋総務部長 田口委員がすごく増えているのはおかしいというのはそれでいいのですが、知らされずに行われていることが問題というのはおかしいということです。知らせません。議会も関与出来ません。関与されると大変なことになります。

佐藤委員 こうではなかったらどういうやり方あるのですか。

田口委員 規則を変えたということでこれだけ昇格者が増えているということ、先程言われたように部署が増えたということもあるのですが、その規則を変えることは規則の変更なので議会の審議にかける必要はないとのことだったのですが、ここまで大幅に増えるのであればやはり議会にかけるなり市民に明らかにしたうえで判断を仰いでからやるべきだと思います。

- 堺委員 田口委員の見解の前段と後段の10年・15年先までの定員計画の策定はOKだと思いますが、中段の表現は不要だと思います。今一つ意味がわからないのでいいと思います。表もダブっているので1つでいい。自分の分だけがこの報告書の中で何ページにも渡るという感覚で来るのが私は信じられない。
- 西村委員 田口委員の、「市民に知らされずに行われることも問題」という表現が消したほうがいい。人事権は市長しか持っていない。市民の中でみんなと相談したり後援会に相談したりというのは裏の話なので表立っては市長しか持っていない。
- 田口委員 そういう意味で言っているのではなく数の問題を言っている。
- 西村委員 数も自分の行政をやりたいために役職を増やしたりポジションを分けたり、新しい部署を作ったりするのは市長の権限です。
- 牧田委員長 ここでの論議はそこはやる必要はないのではないですか。
- 田口委員 規模に応じて仙北市は職員が多いし役付き職員も多いということは書いてもいい。そのとおりだから。
- 堺委員 それについては考慮していただきたいと書けばそれでいいのではないか。
- 田口委員 規則を変えて昇格させている訳でしょう。機構改革で増えているのはわかるのですが。
- 運藤総務課長 何回もやり取りしていると思うのですが、規則は変えずに運用の中で裁量権があるということですよ。
- 田口委員 病院や庁舎の話でもそうだが、市民のみんなに議論に入ってもらってという話があった。人事権の個別の話ではなくて、これだけ数が増えるような運用を変えたということについて、議会の了解を得るなりして進めないと、給料にだって跳ね返る訳でしょう。そうならないようにするためには、あらかじめそういうことが予想される時には議会にかけて、本当に運用を変えることが良いか悪いかの判断を仰ぐべきだと思って書いているのです。
- 佐藤委員 でも、市役所の中だけで行われているというのはどう考えてもおかしいと思います。
- ～ 各委員から消すべきとの意見あり ～
- 倉橋総務部長 担当部長としては職員とのやり取りをこの報告書に出されても違和感を感じました。最終の総括として。田口委員が個人的に求める色々な情報に対して我々も応えてきましたが、そのやりとをここに出されては困ると思っています。
- 牧田委員長 この検証委員会としてこの文言はいいのではないですか。事務局いかがですか。
- 事務局 確かに今部長が言われたとおりこちらとのやり取りを載せるのは正直言って困ると思います。
- 田口委員 私は公的なやり取りとしてもらったというつもりでいましたので、私的なやり取りではないと思っています。

- 事務局 それはもちろん公的ですが、これは余計なお世話かもしれませんが、田口委員とのやり取りが非常に多く情報量も多い訳ですので、他の委員の意見と比べた時に突出してしまうのかなという気はしていました。
- 倉橋総務部長 公的にこちらでもお答えしていますが、ただ、それはそれをもって委員会で議論してもらったことを出してもらうことで、その経緯をここに出すことではないと思います。
- 田口委員 わかりました。やり取りを直接を書いた部分については出さない格好にします。
- 倉橋総務部長 資料の提供で十分な情報提供がなかったということであれば、それはそのように記載されて構わないですが、個別のやり取りまで記載されるのはどうかなと思います。
- 田口委員 私と皆さんの信頼関係の間でやり取りしている部分もあるでしょうから直接書くのは止めます。
- 牧田委員長 田口委員の見解についてはどう取り扱いますか。
- 和田副委員長 検証委員会の中で論議したことで、この総括文に盛り込まないことがあるから、それぞれの委員から補足的な意味合いで書こうということだったので、マニフェスト検証委員会設置の云々は止めたほうがいいと思います。
- 堺委員 先日の結論としては、アクションプランの中に各委員のコメントが色々と書かれているあるが、それでも自分の説明が足りない分を2・3項目あげてくださいということでお願いした訳なので、それは全員が承知したうえでそれに沿った文面を書いて来たので、新たに自分の思いを入れたり評価をされると全体像に影響がある。
- 田口委員 了解です。全面的に見直します。
- 牧田委員長 それでは早急に事務局に提出するようお願いします。
- 事務局 そこは田口委員と直接やり取りさせていただきます。
- 西村委員 その後の判断は委員長にお任せします。
- 牧田委員長 他に何かありますか。
- 倉橋総務部長 今日が最後の委員会ということで、この後、議会との懇談の場が設置できるようにお願いしたいと思いますので、また集まっていただく機会があると思いますが、一応検証委員会としての議論は今日が最後ということで、これまで本当に長い間、長時間積極的に本当に真剣に議論していただきまして本当にありがとうございます。私どもも初めての、色々な委員会等はあるのですが、こうして具体的に市の政策について検証していただくというのが初めてですので、私どもの対応も十分でなかった点は多々あると思います。それをこれまで皆さん、最初は田口委員長それから牧田委員長を先頭に最後までお付き合いいただき、また、報告書をまとめていただき本当に感謝しています。またこれからもこの委員会は継続していく予定になっていますので、今回の議論を踏まえて更に踏み込んだ意見をお聞かせ願えればと思っています。私どもとしても今回の経験を生かして次回の委員会までに備えたいと思いますし、先程の議会の皆さんにもお知らせをという話しの中で、市役所内部にも皆さんから直接お伝えしたいというようなお考えがあるということですが、それも含めて私から部長等会議等で今回の委員会の在り方、それから皆さんからのご意見を十

分伝えていかなければならないと思っています。今まで本当に色々なご意見ご議論をいただきありがとうございました。

牧田委員長

最後のごあいさつをさせていただきます。大変不慣れな進行で、本来はもっと短い時間でやれたのだろうと思って反省しています。今回経験してみて、もっともっと市の色々な状況についてアンテナを張り巡らしながら市をどうしていくのか、市民とどう協働していくのかということを勉強する良い機会をいただいたなと思っています。大変不慣れなことで、委員の皆さんにはご迷惑をかけました。申し訳ありませんでした。今後ともよろしく願いします。ありがとうございました。

4. 閉会
事務局

それでは第10回政策検証市民委員会を閉会します。本当にありがとうございました。

終了16:00